平成25年度予算編成に対する市議会各会派からの要望事項一覧表

会派名	№	要望事項	所管	回答
日本共産党川西市議会議員団	1	「税と社会保障の一体改革」は、市民のくらしを困難にするだけでなく、自治体の負担増へもつながることから、消費税増税を実施しないよう、また、社会保障制度の後退ではなく、国の責任で充実を行うよう強く要求すること	総合政策部	一体改革の動向を注視し、地方自治体の財政運営に影響が出ないように、今後とも市長会等関係機関を通じ、要求してまいります。
日本共産党川西市議会議員団	2	能力に応じて行う「累進課税」を基本にすること、内部留保の活用など企業の社会的責任を明確にするなどを基本にして財源を確保することを強く求めること	総務部	本市の法人市民税の内、資本金等の額に応じて課する均等割については、地方税法の規定による制限税率を適用しており、法人税割については資本金等の額及び法人税額に応じた不均一課税を適用しております。 今後とも、法の規定に基づいた、公正・適正な課税に努めてまいります。
日本共産党川西市議会議員団	3	東日本大震災の復興は国が責任を持って早急に行うこと	総務部	復興は、国が実施されるものであることから、国等に申し入れする考えはございません。
日本共産党川西市議会議員団	4	復興予算の使い方を本来あるべき姿に戻すことを強く求めること	総合政策部	復興予算の使途については、国会審議を経ているため、地方自治体として意見表明を行う考えはございません。
日本共産党川西市議会議員団	5	国として「原発の即時廃止」を速やかに決め、廃炉に向けた計画、それに替わる自然エネルギーへの転換や雇用の確保などを提言すること	市民生活部	市の基本的な姿勢といたしましては、原発からの計画的な撤退と再生可能エネルギーへの転換を推し進めていくという方向にかじを切るべきであると考えており、今後、代替エネルギーにつきまして、その長所、短所を理解しますとともに、短期、中期、長期的な観点から、実現可能性を見きわめて、適当な時期に要請してまいります。
日本共産党川西市議会議員団	6	それぞれの自治体が、太陽光発電などを推奨できるよう財源確保をすること	総合政策部	(財源確保について) 自治体が自主的に太陽光発電などを推奨できるよう国庫補助金の見直し、地方交付税を含めた自主財源の拡充の実現に向けて、国等へ働きかけを行ってまいります。
日本共産党川西市議会議員団	7	生活保護制度の縮小・締め付けは、受給世帯への影響だけでなく、最低賃金など国民生活全てに影響を及ぼすものであることから、保護制度の改悪はやめるよう国に対して強く意見を述べること	健康福祉部	全国市長会等から、国へ要望しております。

平成25年度予算編成に対する市議会各会派からの要望事項一覧表

会派名	№	要望事項	所管	回答
日本共産党川西市議会議員団	8	「老齢加算金」の復活、自治体への財政負担を増やすなど拡充を求めること	健康福祉部	全国市長会等から、国へ要望しております。
日本共産党川西市議会議員団	9	「南海トラフ巨大地震」が想定される中、市民の生命・財産を守る立場で、防災計画を点検し、すみやかに拡充を図ることができるよう財源確保すること	総務部	地震対策につきましては、東日本大震災や阪神・淡路大震災の教訓を生かし、災害に強い街づくりを推進するため、地域防災計画に基づき総合防災訓練を実施する等、災害対策各部における職員の防災活動要領の習得に努めてまいります。 また、各地域，各防災機関との連携を図り、地域防災計画を推進してまいります。
日本共産党川西市議会議員団	10	「南海トラフ巨大地震」が想定される中、市民の生命・財産を守る立場で、防災計画を点検し、すみやかに拡充を図ることができるよう財源確保すること	総合政策部	（財源確保について） 自治体が災害に備えた防災対策を図れるよう、国庫補助金の見直し、地方交付税を含めた自主財源の拡充の実現に向けて、国等へ働きかけを行ってまいります。
日本共産党川西市議会議員団	11	ＴＰＰ（環太平洋連携協定）参加は、日本人の主食であるコメの自給率が1割以下になるのをはじめ、農産物自給率が13％まで下がってしまうことなど日本の農林水産業を破壊に追いやり、混合診療の拡大や国民皆保険制度の解体につながり、国民の命をないがしろにし、復興の妨げにもなるので、断固反対の立場を表明すること	市民生活部	ＴＰＰにつきましては、国の動向を見守ってまいります。
日本共産党川西市議会議員団	12	オスプレイの低空飛行訓練は、即時中止を求め、撤退させること	総合政策部	我が国の安全保障上の必要に基づいて、実施されるものであることから、市として訓練の中止、撤退を申し入れる考えはございません。
日本共産党川西市議会議員団	13	尖閣諸島・竹島・千島列島などの領土問題は、歴史的事実と国際法上の道理にたって、平和的外交を粘り強く行うことを強く求めること	総合政策部	国政の問題であり、地方自治体として意見表明を行う考えはございません。
日本共産党川西市議会議員団	14	日米軍事同盟をやめ、日米友好条約にするよう強く求めること	総合政策部	国政の問題であり、地方自治体として意見表明を行う考えはございません。
日本共産党川西市議会議員団	15	国に対して、地方交付税、補助金の削減を許さず、拡充するよう働きかけること	総合政策部	自治体の自主・自立した財政運営が図れるよう国等へ働きかけを行ってまいります。

平成25年度予算編成に対する市議会各会派からの要望事項一覧表

会派名	№	要望事項	所管	回答
日本共産党川西市議会議員団	16	労働法制の給与削減・規制緩和などの改悪をやめ、地方公務員の給与削減に拍車をかける「交付税の見直し（ペナルティ）」、「人事評価制度」は、撤回するよう強く意見を述べること	総務部	交付税の見直しについては、国での実施が決定されたことから、今後は国の給与削減状況を注視しながらの検討が必要と考えております。 「人事評価制度」については、本人の強みや弱みを知って成長をめざす「人材育成」や「組織ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ強化」のためのツールだと考えており、本市においても導入を検討してまいります。
日本共産党川西市議会議員団	17	自治体間格差が広がる原因となる一括交付金化や一般財源化、消費税の地方税化を行わないよう強く意見を述べ、国の責任を明確にさせること	総合政策部	一括交付金制度については、その導入や推進にあたっては、国と地方との協議の場で十分な協議が行われるものと理解しており、機会を捉えて、現行の補助金等総額の確保や国の関与を必要最小限にとどめるなどを要望してまいります。
日本共産党川西市議会議員団	18	兵庫県・県教育委員会に対して、兵庫県高等学校通学区域検討委員会が進める「県立高等学校通学区域の拡大・見直し」は、中止を求めること	教育振興部	子ども達が第一希望の高等学校に進学できるよう、今後の通学区域に係る入学者選抜の改善について動向を見守り、より充実した進路指導に努めてまいります。
日本共産党川西市議会議員団	19	兵庫県に対して、「県立こども病院」のポートアイランド（2期工事）への移転計画は、即時中止を求めること	健康福祉部	県立こども病院は、周産期・小児医療の高度専門施設として欠くことのできない施設ですが、老朽化のための建て替え検討中でございます。 移転先の場所が問題になっておりますが、県等の検討を重視してまいります。
日本共産党川西市議会議員団	20	国や地方政治の責任でつくり出された財政難を、市民、職員に負担転嫁しないこと市民のくらし・福祉・教育環境整備を最優先させること	総合政策部	限られた財源や資源の中で、新たな行財政課題に対応するためには、経費削減を一義的に捉えるのではなく、必要な事業への投資や民間資金の活用など、バランスのとれた質の高い、効率的で効果的な行政サービスを提供する一方で、財政収支の均衡も果たしつつ、持続可能な市の経営に努めてまいります。

平成25年度予算編成に対する市議会各会派からの要望事項一覧表

会派名	№	要望事項	所管	回答
日本共産党川西市議会議員団	21	市立川西病院は、自治体病院として、北部地域住民の医療の拠点として存続・拡充をはかること ①「自治体病院」として堅持し続けること（建て替えを含め）を明確に掲げ、医師確保を行うこと 医師等が働きやすい環境を整備すること ②公立病院の赤字原因である診療報酬引き下げ、医師不足、医療保険の改悪など、国の低医療費政策を改めるよう、国に強く意見を述べること ③産科、小児科、救急医療など「不採算部門」を担っている公立病院を支援できるよう国に交付金額を増額するよう働きかけること ④財政協力を含む一市三町の広域連携をはかること ⑤病院への交通網の確立を急ぐこと ⑦駐車場無料の枠を「患者は無料にする」など広げること	市立川西病院	①経営改革プランに基づき、経営の健全化を目指すとともに、医師確保に努めてまいります。 ②全国自治体病院協議会等を通じて、国へ要望を行ってまいります。 ③できる限りの財政支援はいただいており、公立病院として改革プランに沿った経営に努めてまいります。 ④今後の検討課題といたします。 ⑤交通アクセスの確保については、引き続き市に協力を要請してまいります。 ⑥平成22年度から有料化したことで、目的外駐車が減り駐車場待ち時間の問題がほぼ解消されました。ご理解いただきますようお願いいたします。
日本共産党川西市議会議員団	22	（市立川西病院について） ⑥市としての財政支援を十分行うこと	総合政策部	市立川西病院の療養環境や病院機能を維持し、経営基盤を強化するため、「市立川西病院あり方検討委員会」において、将来の市立川西病院のあり方について方向性を整理し、その実現に向け市としての財政支援を検討してまいります。
日本共産党川西市議会議員団	23	国の責任放棄につながり、地方自治体にだけ責任を押しつける「地域主権」や「道州制」に反対すること、川西市は、自治体として「住民福祉の増進（地方自治法第1条）」が責務であることを明確に、行政を担うこと 民営化、自治体独自施策の廃止は、自治体本来の「住民福祉の増進」から逆行します。「経費削減・経営優先」だけで突き進むのではなく、市民の利益優先、安心と安全を最優先に行政施策を行うこと	総合政策部	地方公共団体は、住民の福祉の増進に努める一方で、最少の経費で最大の効果を挙げるようにしなければならないものであることは地方自治法で明らかであり、引き続き、住民福祉の向上と財政健全の両立が図れるよう行財政運営を進めてまいります。
日本共産党川西市議会議員団	24	「消防の広域化」は、国や兵庫県の計画追随ではなく、それぞれの自治体で、「国基準に近付けることが責務であること」を最優先させること。	消防本部	宝塚市、川西市及び猪名川町消防広域化協議会規約に基づき協議・検討を粛々と進めてまいります。
日本共産党川西市議会議員団	25	中央北地区開発は市の財政が厳しい状況の中、川西市全体のまちづくりとの整合性を堅持すること	中央北整備部	中央北地区における新たな土地利用を早期に実現できるよう事業推進を図ることにより、税収の確保をはじめ市全体のまちづくりに寄与することになることから、最小の経費で最大の効果があがるよう努めてまいります。
日本共産党川西市議会議員団	26	中央北地区開発に係る計画作成（区画整理事業など）は全市民にしっかり情報を提示し、幅広く市民意見を聞くことを基本にし、計画に反映させること	中央北整備部	中央北地区のまちづくりを進める中で、事業の進捗状況や方向性について、広報かわにしや市ホームページ等を通じて、地元地権者のみならず、広く市民全体に情報を発信してまいります。

平成25年度予算編成に対する市議会各会派からの要望事項一覧表

会派名	№	要望事項	所管	回答
日本共産党川西市議会議員団	27	財政出動の偏りや市民財産がムダに使われることがないよう、規模の縮小、事業費の圧縮をはかること	総合政策部	サービスの質を低下させることのないよう、民間委託の推進や事務事業の見直しを徹底し、最少の経費で最大の効果が上がるよう、努力してまいります。
日本共産党川西市議会議員団	28	川西都市開発株式会社及びパルティ川西管理会社との関係を再考し、市民負担を減らすこと	総合政策部	外郭団体等の自主的･自立的な運営の前提として経営や収支の状況を公開するなど、経営のより一層の透明化を図ってまいります。 また、その存在意義や経営状態についての細かな検証を行い、運営の適正化を図ってまいります。
日本共産党川西市議会議員団	29	市として、交通弱者に対して、また、交通空白地域に対して、早急に交通網の確立を行うこと	都市整備部	交通政策における、各種文言定義は定まっていない中、川西市公共交通基本計画を立案し検討してまいりたいと考えております。
日本共産党川西市議会議員団	30	川西能勢口駅前駐輪施設の設置、確保など歩行者の安全を確保する具体的施策を早急に実施すること	都市整備部	現在、能勢口駅周辺について電鉄会社･大型商業施設･地元ＴＭＯを含めた放置自転車対策会議を定期的に開催して検討しており、昨年8月民間による路上駐輪施設を設置し今後も整備していく予定にしております。
日本共産党川西市議会議員団	31	(「国崎クリーンセンター」の稼動について) データーなどの情報･管理運営について市町に対して速やかに開示･説明し、住民の納得を得るよう徹底すること 建設地である市として、周辺の環境、文化財の保全を行うこと	美化推進部	情報の速やかな開示、適切な管理運営の徹底について要望を行ってまいります。また、周辺の環境、文化財の保全につきましても、引き続き環境保全に配慮するよう働きかけてまいります。
日本共産党川西市議会議員団	32	(指定管理者制度について) ①指定管理者制度は見直し、廃止するよう国に対して求めること ②市民へのサービス低下、施設で働く人々の労働条件の悪化が明らかになってきている。事業運営については公平性･透明性が担保されていないなど、公の施設の設置目的である「公共の福祉の増進」に相容れないものであるため、直営にもどすこと	総合政策部	①指定管理者制度については、各公の施設の設置目的や現状を把握しつつ、制度の創設趣旨に適った施設への導入を検討するとともに、指定管理者の選定に際しても最適な事業者となるよう努めてまいります。 ②指定管理者制度の創設趣旨は、第一義として市民サービスの向上であると理解しております。また、現場で働く方の労働条件についても、法令を順守するよう必要に応じて指定管理者を指導いたします。
日本共産党川西市議会議員団	33	「子ども･子育て新システム」の導入に反対すること 公的保育を堅持し、市としての責任を果たすこと	こども部	平成２４年8月に成立した子ども･子育て関連3法に基づき、子育て環境の充実に努めてまいります。

平成25年度予算編成に対する市議会各会派からの要望事項一覧表

会派名	№	要望事項	所管	回答
日本共産党川西市議会議員団	34	（子育て支援について）安心して子どもを生み育てることができるよう、すべての子どもの権利を守る内容にすること ①こどもの医療費無料制度を国の制度とすることを求め、自治体独自助成を上乗せすること どの子も医療費は中学校卒業まで無料にすること	健康福祉部	①平成24年4月からは中学生の入院につきまして全額助成を開始するなど、こどもに対する医療費助成の充実を図ってまいりました。今後につきましては少子化の状況、近隣各市の助成状況を参考にしながら、原則として県助成制度を基準に助成制度のあり方を検討してまいります。
日本共産党川西市議会議員団	35	②地域・保育所（園）・幼稚園・小・中学校など、地域の子育て連携ができるよう十分な支援をすること	こども部	教育委員会と連携を深め、地域の子育て支援の充実に努めます。 また、拠点となる公立保育所(多田、川西中央、川西南保育所）に地域子育て支援保育士を配置するなど、新保育所保育指針に則り、地域の子育て支援施策を実施しております。
日本共産党川西市議会議員団	36	中学校給食の完全実施を行うこと	教育振興部	平成25年度に「中学校給食検討委員会（仮称）」を起ち上げ、検討をすすめることとしております。
日本共産党川西市議会議員団	37	すべてのこども達が心も身体も健やかに育つよう、市と教育委員会は、保護者、地域、他関係機関とも十分に連携をとった取り組みを行うこと 特に「いじめ」については、未然に防ぐ対策を行うこと	教育振興部	子ども達の「生きる力」を育むために、今後も、地域、家庭、関係機関との連携を取りながら教育を進めてまいります。また、いじめについては、各学校において組織的な生徒指導を実践し、いじめの未然防止と早期解消に努めてまいります。

平成25年度予算編成に対する市議会各会派からの要望事項一覧表

会派名	№	要望事項	所管	回答
日本共産党 川西市議会 議員団	38	医療への助成について ①先進国では当たり前の窓口負担ゼロをめざし、負担軽減をすすめるよう国に働きかけること ②後期高齢者医療制度を廃止すること ③７０歳から７４歳の医療費窓口負担１割から２割への負担引き上げをやめさせること。市単独でも支援を行うこと ④６５歳以上高齢者に「肺炎球菌ワクチン」接種への助成を行うこと ⑤障がい者（児）、７５歳以上は医療費を無料にすること ⑥低所得の方へ入院時の食費補助を行うこと ⑦子宮癌、乳癌検診の無料化を行うこと ⑧妊婦検診（１４回分）の補助を継続するよう国や兵庫県に要求すること	健康福祉部	①現行の福祉医療助成制度は、医療費の一部を助成することにより経済的な負担を軽減し医療を受けやすくする制度として、兵庫県との共同事業で実施しております。今後もこの福祉医療制度を将来にわたり持続的で安定した制度として維持していけるように県と協力して取り組んでまいります。 ②高齢者医療制度につきましては、国におきまして、社会保障制度改革国民会議で検討を進め８月に結論を出すこととなっております。 ③70歳から74歳の一部負担割合につきましては、今後厚労省の社会保障審議会で検討していくことになっております。現時点では制度の動向も不明なため市単独の助成は検討しておりません。 ④高齢者用肺炎球菌ワクチン接種は、現在国において定期接種化を視野に入れて検討中ですので、その動向を見極めてまいります。 ⑤実績や近隣各市の助成状況を参考にしながら、原則として県助成制度を基準に助成制度のあり方を検討してまいります。 ⑥入院時の食事負担につきましては、所得状況や入院期間に応じた4段階の金額を本人が負担し超過額は国保など健康保険が負担する仕組みになっており、市単独の助成を行う考えはございません。 ⑦平成24年度から国保被保険者に対するがん検診（乳がん検診は除く）の自己負担額助成を開始しております。 子宮頸がん、乳がんの検診については、女性医師・女性放射線技師・読影医師の確保や、検診医療機関の拡充など、女性が受診しやすい受け皿の整備が課題となっております。検診の無料化につきましては、平成21年度から実施している「女性特有のがん検診推進事業」を、平成25年度においても、国制度に基づきながら継続して推進してまいります。 ⑧補助制度の継続につきましては、市長会等を通して毎年要望しているところでございます。健診費への助成事業は、平成25年度でも前年度と同様に、所得制限なしで健診14回分の助成を継続するとともに、母子健康手帳交付前の健診も助成対象として実施してまいります。
日本共産党 川西市議会 議員団	39	介護を受ける方のサービスが低下しないように市としての取り組みを強めること	健康福祉部	第５期介護保険事業計画に基づき、介護サービスを提供してまいります。
日本共産党 川西市議会 議員団	40	「人間の尊厳」が堅持できる介護保険制度に拡充すること、介護保険料・サービス利用料に跳ね返ってくる制度の抜本的改革をするよう、国に対して、強く意見を述べること	健康福祉部	介護保険制度に関しては、必要に応じて、国へ意見をあげてまいります。
日本共産党 川西市議会 議員団	41	「障害者総合福祉法」がＨ２５からはじめられようとしています。ひとりひとりの障がい者（児）が、「障がいの有無によってわけ隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重しあいながら共生する社会」となるよう、国に対して、予算措置をすることを含め、強く意見を述べること。市としても個々人が誇りをもって生活できるまちづくりとなるよう、具体的施策を進めること	健康福祉部	平成25年4月から「障害者総合支援法」が施行されます。現在の障害者自立支援法によるサービス提供は継続され、障害福祉サービスの対象に難病等を加えること等とされております。、「障がいの有無によってわけ隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重しあいながら共生する社会」となるよう、第3期障がい者福祉計画に基づき、地域における障がい者と住民の取り組みを支援するとともに、各地域にそうした取り組みが広がるよう支援してまいります。

平成25年度予算編成に対する市議会各会派からの要望事項一覧表

会派名	№	要望事項	所管	回答
日本共産党川西市議会議員団	42	国民健康保険税について ①赤字分とは別に、一般会計からの繰入を行い、国保税を1万円の引き下げること ②市民のいのちを守りきる立場で十分な相談、連携･支援を行うこと 「短期証明書」「資格証明書」は発行しないこと ③国の医療費負担割合削減を元に戻すよう意見を言うこと （市の独自施策に対して、ペナルティで負担金等を削減するなど、国のしばりをやめるよう強く意見を言うこと） ④能力に応じた税負担にし、市独自減免制度の拡充を行うこと 特に、理由のいかんに関わらず、前年度より所得3割減の方は「減免対象」とすること ⑤住民の税負担が増え、住民の声が届かず、住民の実態が見えなくなる「広域連合化」には、反対すること	健康福祉部	①税率改定の検討の中で、今回必要とする改定幅があまりに大きいため、改定幅の圧縮のために緊急措置として法定外繰入を拡大する方向で検討し、予算案を策定しております。医療費が増加の一途をたどる今の状況では国保税の引き下げは困難と考えております。 ②短期被保険者証、資格証明書につきましては、滞納者との納税相談等の機会を確保するために発行していますが、災害等の特別の事情、世帯の実態を把握し交付しております。 ③国保加入者支援に伴う国庫補助金の拡充につきましては、兵庫県、県国保団体連合会、近畿都市国民健康保険者協議会、全国市長会等を通じて機会あるごとに要望活動を行なっております。負担金等削減に対する要望につきましても、同様に要望を行なっております。 ④保険税の減免につきましては、平成22年度には「非自発的失業者の軽減制度」なども創設され、国におきましても社会情勢の変化に合わせ対応してきているところであります。本市におきましても社会情勢の変化に合わせ対応してまいります。 ⑤国民健康保険につきましては都道府県単位の共同事業の拡大が検討されているところです。運営主体につきましては財源責任、事務体制の議論が進む中で最も適切なものが選定されると考えております。
日本共産党川西市議会議員団	43	国のバリアフリー計画の存続を求め、まだ、未整備になっている能勢電鉄「笹部」「一の鳥居」「鶯の森」「滝山」「絹延橋」、ＪＲ「北伊丹駅北口」の整備を進めること	都市整備部	平成23年3月31日付で移動等円滑化の促進に関する基本方針が改正され、1日当たり平均利用者数が、3000人以上の鉄道駅は平成32年までにバリアフリー化を実施することとなっております。 絹延橋駅、滝山駅、鶯の森駅、一の鳥居駅、笹部駅については、1日当たり平均利用者数は3000人未満でございますが、バリアフリー化について事業者である能勢電鉄株式会社と協議を継続し、要望を行ってまいります。 また、ＪＲ北伊丹駅北口のバリアフリー化についても、事業者に対して、要望を行ってまいります。
日本共産党川西市議会議員団	44	公契約条例の制定を行うこと	総務部	近年、役務提供にかかる業務委託を中心に、労働環境の維持･向上に向けた取り組みを進めてきており、今後ともこうした取り組みを充実･強化する考えでございます。従って、現時点では、公契約条例を制定する考えはございません。

平成25年度予算編成に対する市議会各会派からの要望事項一覧表

会派名	№	要望事項	所管	回答
日本共産党川西市議会議員団	45	住宅リフォーム助成制度の創設を行うこと	市民生活部	住宅リフォーム制度の経済効果は限定的であると考えており、経済対策としては、現在のところ実施する予定はございません。
日本共産党川西市議会議員団	46	職員定数については、市民サービスの低下や行政運営の低下にならないよう、再任用職員を定数内に入れるのではなく、職員が心も身体も健康で公務労働に従事できるよう定数管理を行うこと	総合政策部	行財政改革前期実行計画における職員定数管理計画に基づき、職員定数の適正化を図るとともに、行財政改革を推進する重要項目として適格な管理を行ってまいります。
日本共産党川西市議会議員団	47	自衛隊に関する要求について ①人権に関わる国民監視をやめること(自衛隊に抗議申し入れを行い、止めるように強力に働きかけること) ②自衛隊の住宅地域での軍事訓練・歩行訓練をしないこと(自衛隊に抗議申し入れを行い、止めるように強力に働きかけること) ③久代自衛隊訓練所・弾薬庫・射撃場等の基地撤去を要求すること ④弾薬庫の安全基準を守らせること(住民の安全を守るべき自治体の長にも明らかにしない国の在り方を正すよう要求すること) ⑤自衛隊まつりで、戦車への乗車、武器に触らせるなどしないこと(特にこどもや青少年には行わないよう、自衛隊に抗議申し入れを行い、止めるように強力に働きかけること) ⑥自衛隊の行事や施策に対して市民へのPRをしないこと ⑦自衛隊の勧誘協力をしないこと ⑧正当な固定資産税を納入させること	総務部	①②③④⑤自衛隊の訓練等につきましては、我が国の安全保障上の必要に基づいて国が実施されるものであることから、市として訓練の中止等を申し入れる考えはございません。 ⑥⑦地域住民への影響や法の規定などに基づき、対応してまいります。 ⑧地方税法の規定により、国や地方公共団体が所有する固定資産は非課税とされているため、固定資産税を課税することはできません。 なお、その代替え措置として国有提供施設等所在市町村助成交付金いわゆる基地交付金等の制度がございます。
日本共産党川西市議会議員団	48	住民の憩いの場となっている猪名川町大野山の自衛隊通信基地は撤去するように国・県・猪名川町に働きかけること	総合政策部	国防は、国の存亡にかかわる国政の根幹の問題であり、地方自治体として、通信基地の撤去について意見表明を行う考えはございません。

平成25年度予算編成に対する市議会各会派からの要望事項一覧表

会派名	№	要望事項	所管	回答
日本共産党 川西市議会 議員団	49	平和への取り組みについて ①各公共施設に「非核平和宣言都市」の標柱設置、非核平和フィルム・図書の普及など、非核平和事業を拡充すること ②核兵器廃絶条約実現へ国に働きかけること ③市民の自主的な平和運動を援助すること ④ヒロシマ宣言にあるように、核廃絶・9条守れの啓発などをすすめること ⑤毎年8月6日開催の広島平和式典への「平和バス」を復活すること	市民生活部	本市の「非核平和都市宣言」の趣旨に則り、平和関連事業を推進してまいります。 また、各公共施設には「非核平和都市宣言のまち 「人権擁護都市宣言のまち 川西市」のステッカーを貼付しております。 なお、「平和バス」に替わるものとして、8月6日の広島平和記念式典へは、公募した市民2名による「折り鶴平和大使」を派遣してまいります。
日本共産党 川西市議会 議員団	50	国に対し、国家賠償の原則にたった被爆者援護法改定を強く要求すること 市としても、被爆者援護へ独自の施策を充実すること	市民生活部	被爆者援護法の改定につきましては、国の動向を見守ってまいります。 また、非核平和都市宣言の理念に基づき、被爆者問題も含めた啓発活動を進めてまいります。
日本共産党 川西市議会 議員団	51	消費税の引き上げを実施しないよう国に働きかけること	総合政策部	国と地方の協議の場で議論されるべきものと考えており、地方税においては、税法の改正に基づき対応してまいります。

平成25年度予算編成に対する市議会各会派からの要望事項一覧表

会派名	№	要望事項	所管	回答
日本共産党 川西市議会 議員団	52	地方自治体の仕事である「住民の安全と健康・福祉の保持」を第一に行財政運営を考え、開発優先の市政を改めること ①指定管理者制度を見直し、直営を基本にすること ②「受益者負担適正化」の名による市民負担の増大・ごみ有料化を行わないこと 上下水道料金等、市民にとって過大な負担となっている公共料金を引き下げること ③福祉・教育などの個人給付を復活すること(特定疾病見舞金・福祉金、高校生奨学給付金を復活させること) ④市民へのしわ寄せをもたらすような施設の統廃合を行わないこと ⑤人件費削減を目的とした正職員定数の削減・抑制を行わず、再任用職員は定数外にすることなど、不当に嘱託・アルバイト職員による補充等の措置をとらないこと 市民サービス部門の職員(特に相談窓口など)を増強すること 嘱託・アルバイト職員の待遇改善を早急に行うこと	総合政策部	①指定管理者制度については、各公の施設の設置目的や現状を把握し、制度の創設趣旨を勘案しながら、適切に対応してまいります。 ②市民の負担について、対象経費の抽出はもとより、適正な負担割合の算出を行うなど、今後とも適切な執行に努めてまいります。 ③個人給付につきましては、施策の選択や公平性の観点から、時代の変化に整合した事業のあり方を検討してまいります。 ④公の施設の現状を把握する中で、その必要性が薄れたなどと判断できたものについて、統廃合・転用も含めて検討を進めてまいります。 ⑤行財政改革前期実行計画における職員定数管理計画に基づき、時代の変化に対応した職員数の適正化を図るとともに、行財政改革前期実行計画に即した効率的な行政運営をめざします。
日本共産党 川西市議会 議員団	53	⑥「人事評価制度」をやめること	総務部	「人事評価制度」は、本人の強みや弱みを知って成長をめざす「人材育成」や「組織ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ強化」のためのツールだと考えており、本市においても導入を検討してまいります。
日本共産党 川西市議会 議員団	54	公共事業の地元中小業者への発注率を引き上げ、分離分割発注を促進し業者育成に努めること ①入札は、市内業者優先をつらぬき、制度の公正な執行に努めること ②公契約条例の制定をめざすこと	総務部	市内業者を中心とした発注に関しては、従前から取り組んでおり、これを継続する考えでございます。また、分離分割発注については、工事内容や市内業者数などの状況に応じて、工種ごとに判断のうえ実施してまいります。 ※公契約条例の制定については前述のとおり。
日本共産党 川西市議会 議員団	55	公社・財団・指定管理者の事業内容、運営状況を議会の該当常任委員協議会に報告し、説明すること 市が貸付けをしている株式会社の報告・説明責任を果たさせること	総務部	市が出資等を行っている法人については、地方自治法の規定により、当該法人の事業計画、決算等の経営状況を説明する書類を提出しております。 また、指定管理者につきましても、同法の規定により市に対して提出されている事業報告書を市政情報コーナーに設置し情報提供に努めております。

平成25年度予算編成に対する市議会各会派からの要望事項一覧表

会派名	№	要望事項	所管	回答
日本共産党川西市議会議員団	56	公社･財団･指定管理者の事業内容、運営状況を議会の該当常任委員協議会に報告し、説明すること 市が貸付けをしている株式会社の報告･説明責任を果たさせること	総合政策部	川西市出資法人等の経営への関与を定める条例に基づき、毎事業年度終了後、事業が効果的かつ効率的に実施されているか、当該出資法人等自らが事業全体を分析し、経営評価を行なうよう指導及び助言を行ってまいります。
日本共産党川西市議会議員団	57	各種審議会の人選にあたっては、女性参加を推進すること 各分野で自主的な活動をおこなっている団体からの参加や、公募により広く市民の中から意欲のある人を選ぶこと 目的にそった活発な審議が行えるように自主的･民主的運営をすること	総合政策部	各審議会等の委員の選任にあたっては、幅広い分野の方々を登用しているところでございます。それぞれの審議会等の設置目的が達成できる範囲で、委員の公募を導入し、委員の意見、学識、経験等が公正かつ均衡の取れたものとなるように努めるとともに、活発な議論が行えるようにしてまいります。
日本共産党川西市議会議員団	58	地域で住民が気軽に使える場所をつくること 公共施設の貸室･貸館についても、市民が気軽に気持ちよく利用できるよう、手続きや対応について検討することや料金の軽減をはかること 駐車場の確保を行うこと 市民サービス低下につながる業務委託はやめること	市民生活部	地域住民が気軽に集う場所として、市内にコミュニティセンター等を設置しております。各センターの駐車場の状況については、加茂ふれあい会館は十分な駐車スペースを備えておりますが、他の会館は確保が難しい状況にございます。また、利用者からは管理経費の一部負担として利用料をいただいていますが、減免規定も設けております。 コミュニティセンターは、地域との結びつきが強く、利用者との長期にわたる安定した関係性が必要とされる施設であるため、市では、平成１８年度以降、地域団体（コミュニティ組織･自治会）を指定管理者に指定することを基本方針としてまいりました。導入から約7年が経ちましたが、これまで特に問題もなく、スムーズに管理運営していただいております。 市としましては、指定管理料の範囲で行うことが難しい大規模修繕の必要が生じた時などには、修繕費を予算化し対処するなど、今後とも、地域と連携しながら、適切な維持管理に努めてまいります。なお、貸室にあたっては気持ちよくご利用いただけるよう、サービスの向上と適正な管理について、適切に指定管理者を指導してまいります。
日本共産党川西市議会議員団	59	市庁舎及び保健センターの来訪者に対する駐車場の無料を徹底すること	総務部	原則、市役所業務に係る来庁者には料金を徴しないこととなっており、各所管に必要に応じてサービス券を配布し、対応しております。

平成25年度予算編成に対する市議会各会派からの要望事項一覧表

会派名	№	要望事項	所管	回答
日本共産党川西市議会議員団	60	都市計画税を引き下げること	総務部	都市計画税は、都市計画事業等に要する費用に充てる貴重な財源でございます。 地方税法の規定に基づき、既に住宅用地等には必要な軽減措置を適用しておりますので、更なる引下げ措置は行ってまいりません。 今後とも、法の規定に基づいた、公正･適正な課税に努めてまいります。
日本共産党川西市議会議員団	61	市民のニーズを把握し、市内総合交通対策を検討すること 福祉バスの運行を実施すること とりわけ、川西病院への運行を早期に実現すること	都市整備部	今後市における交通政策は、川西市公共交通基本計画を立案し、検討してまいりたいと考えております。
日本共産党川西市議会議員団	62	無担保無保証人融資制度を拡大し、手続きを簡素化すること 緊急融資制度を別枠として借りられるようにすること	市民生活部	融資あっせん制度につきましては、国の制度に影響を受け、信用保証協会との協議によって成り立っており、市独自での拡大は考えていません。しかしながら、現行はセーフティーネット枠の拡大など、融資の機会は拡大していると考えております。
日本共産党川西市議会議員団	63	住宅リフォーム助成制度をつくること 地域活性化対策として、家屋の修繕費、耐震化など巾広い助成制度にすること	市民生活部	住宅リフォーム制度の経済効果は限定的であると考えており、経済対策としては、現在のところ実施する予定はございません。
日本共産党川西市議会議員団	64	農業後継者確保に積極的な支援を行うこと	市民生活部	農業従事者の高齢化や農地面積の減少等が続く中、後継者の確保や支援対策は重要な課題であると考えております。今後とも関係機関等と連携を図り、後継者支援に向けた施策推進に努めたいと考えております。
日本共産党川西市議会議員団	65	地産地消の取り組みに、財政的援助も含めて支援を行うこと	市民生活部	食の安全や地産地消に対する市民の関心や期待が年々高まる中で、農作物直売所の整備や朝市実施の取り組み支援は重要であると考えており、今後とも安定的な運営が図れるよう可能な限り支援に努めてまいります。
日本共産党川西市議会議員団	66	イチジク、桃、栗、軟弱野菜など特産物の育成と農業振興の支援を行うこと	市民生活部	いちじく、桃、軟弱野菜等、特産物の振興支援策は本市の農業振興を図る上で重要施策の1つであると考えております。今後ともＪＡ兵庫六甲や関係団体と連携を図りながら施策推進に努めたいと考えております。

平成25年度予算編成に対する市議会各会派からの要望事項一覧表

会派名	№	要望事項	所管	回答
日本共産党川西市議会議員団	67	鳥獣被害対策を強化すること ①電柵、防鹿対策、防鳥ネットの設置などへの助成を行なうこと	市民生活部	近年、シカ、イノシシ、アライグマなどの有害鳥獣による農作物への被害は大きく、被害地域も拡大傾向にあるところです。市では平成22年度から国の制度を利用して川西市有害鳥獣対策協議会を通じて、防護柵設置を進めています。今後とも国や県、各種関係団体等と連携を図りながら、支援を図っていきたいと考えております。
日本共産党川西市議会議員団	68	中小零細企業の労働者への福利厚生を充実させ、権利侵害が起こらないように啓発すること	市民生活部	中小企業勤労者福祉サービスセンター（愛称：パセオかわにし）では、スケールメリットを生かし、大企業と同様の福利厚生事業サービスができるよう、事業所検診等の健康診断をはじめ、スポーツ大会、レクリエーションチケットのあっせん等各種事業を実施し、会員の皆様の福利厚生に努めております。 また、労使間トラブルに対応するため、労働相談窓口を設置し、労働者支援に努めております。
日本共産党川西市議会議員団	69	労働者支援を徹底すること ①労働者が、健康で働き続けることができるように、労働時間短縮を啓発し、サービス残業を根絶すること ②失業対策などの相談窓口をつくること ③育児・介護休暇制度の確立を市内企業に働きかけること ④労働者の交流、スポーツ・文化活動が行える利用しやすい施設を造ること ⑤労働基準法などをもとに、自治体として、より強力に指導すること ⑥最低賃金を守り、生活できる賃金へと向上させること	市民生活部	①③⑤⑥については、労働基準法をはじめ関連法等の改正に合わせて、労働者の権利や業務について「かわにし労政ニュース」や「広報かわにし」に掲載し啓発を行っております。また、②については、川西しごと・サポートセンターや若者キャリアサポート川西で行っている生活相談業務にて市や関係機関の窓口をご紹介しております。なお、④については、文化会館や総合体育館など既存施設の活用をお願いしたいと考えております。
日本共産党川西市議会議員団	70	有害食品、合成洗剤、樹脂食器に対する指導を強化し、公共機関では使用しないこと	市民生活部	有害食品については、食の安全性の確保に関する施策を総合的に推進することを目的とする「食品安全基本法」の平成１５年７月１日施行に伴い、新たに食品健康影響評価を行う機関として「食品安全委員会」が設置され、食品の安全確保がなされております。 合成洗剤については、引き続き消費者団体と連携しながら、石けん使用運動の推進と啓発に努めてまいります。樹脂食器についても安全性を確保するよう啓発に努めてまいります。

平成25年度予算編成に対する市議会各会派からの要望事項一覧表

会派名	№	要望事項	所管	回答
日本共産党川西市議会議員団	71	産業保健推進事業における事業所検診に歯科検診を加えること	市民生活部	歯科検診につきましては、労働安全衛生規則第48条の令第22条第3項に「有害な業務」に従事する従業員については、歯科検診の健康診断が必要とされておりますが、現時点では計画しておりません。
日本共産党川西市議会議員団	72	福祉金を復活すること	健康福祉部	福祉金の復活については、現下の厳しい財政状況や福祉をめぐる動向から判断し、困難であると考えております。
日本共産党川西市議会議員団	73	「こどもの権利条約」の普及と実践のためのオンブズパーソンの拡充をすること	市民生活部	「子どもの権利条約」の普及・実践のため、引き続き広報啓発等に取り組むとともに、子どもの人権オンブズパーソン制度については、現行の体制を維持しながら効果的な運営を推進してまいります。
日本共産党川西市議会議員団	74	女性政策推進の人員と予算を増やし、男女完全平等実現への一層の推進をはかること 男女共同参画の予算を増額、人員増をすること(D.Vに充分対応できるように、相談体制の充実、庁内の連携システムを強化し迅速な対応をすること)	市民生活部	平成25年度からスタートする「配偶者等からの暴力対策基本計画」を内包する「第3次川西市男女共同参画プラン」に基づき、時代の変化に対応した施策を推進してまいります。また、25年度からは、両計画を所管するこども家庭部において相談員を増員し、DV相談体制の充実を図るとともに、より一層庁内の連携強化に努めてまいります。
日本共産党川西市議会議員団	75	ヒメボタル(加茂・国崎小路)の生息地を保全すること	市民生活部	ヒメボタルの棲息地の開発においては、保全対策を行うよう求めてまいります。特に、国崎クリーンセンターにおいては、保全対策の遵守を求めてまいります。
日本共産党川西市議会議員団	76	希少コウモリ(テングコウモリ・キクガシラコウモリ・コギクガシラコウモリ・モモジロコウモリ)の生息地を保全すること	市民生活部	希少コウモリの棲息地の開発においては、保全対策を行うよう求めてまいります。特に、国崎クリーンセンターにおいては、環境アセスで示された保全対策の遵守を求めてまいります。 また、コウモリの行動範囲が人間の生活域と重複しておりますが、コウモリの生息環境を守ることは、森林の害虫駆除にも役立っており、それぞれの地域で問題はあるにせよ、地域全体でコウモリと共生していくためのハード面（総合的な行政施策）と、ソフト面（地域や個人の智恵、工夫）が重要だと考え、今後も国・県や各種関係団体と連携しながら保全に取り組んでまいります。

平成25年度予算編成に対する市議会各会派からの要望事項一覧表

会派名	№	要望事項	所管	回答
日本共産党川西市議会議員団	77	総合福祉センターを設置すること	健康福祉部	市の財政状況を踏まえたうえで、総合福祉センター整備に向けた検討を進めてまいります。
日本共産党川西市議会議員団	78	福祉オンブズパーソン制度をつくること	健康福祉部	苦情処理については、各所管において、苦情受付窓口を設置するなどの体制を整えており、今後も情報収集に努めてまいります。
日本共産党川西市議会議員団	79	地域福祉計画の具体化は、人間としての尊厳を守り、実態に応じた生活を支える施策になるよう、早期に拡充すること	健康福祉部	平成２４年度に地域福祉計画の見直しを行い、新たな５か年計画を策定し、それを基に地域福祉の推進に努めてまいります。
日本共産党川西市議会議員団	80	重度障がい者･介護度の高い方のタクシー料金助成制度の拡充をすること	健康福祉部	平成23年度においては、一般タクシーは92社、リフト付タクシーは49社と契約を締結しており、利便性につきまして改善が図られていると考えております。
日本共産党川西市議会議員団	81	精神障がい者の医療は無料にすること	健康福祉部	国民健康保険における精神障害者への付加給付は平成19年度で廃止いたしましたが、精神障害者の医療費につきましては、福祉医療助成制度において一般疾病、精神疾病いずれも対象としております。

平成25年度予算編成に対する市議会各会派からの要望事項一覧表

会派名	№	要望事項	所管	回答
日本共産党川西市議会議員団	82	精神障がい者、身体障がい者のグループホーム建設、身近なところでのショートステイの拡充を行うこと 知的障がい者（児）への教育・リハビリ支援を拡充すること その専門職員を大幅に増員すること、及び学校や保育所職員の研修を支援・強化すること	健康福祉部	自立支援法では、グループホームの開設・運営は民間法人が行うことを前提とした制度となっており、国・県における施設開設にあたっての家賃やバリアフリー工事にかかる助成などに加え、平成19年10月からは、新たな施設の開設が進むよう本市独自の支援策も実施しております。 平成25年4月施行の障害者総合支援法では、今後ケアホームをグループホームに一元化するとされており（平成26年4月実施）、その動向について把握してまいります。 ショートステイ施設については、近隣市の施設での利用に加えて、市内での施設整備に向けて調整を図ってまいります。 知的障がい者（児）へのリハビリ支援につきましては、自立支援法において障害福祉サービスの自立訓練（生活訓練）として、また障がい児のリハビリ支援につきましては、市内さくらんぼ等のデイサービスにおいてそれぞれ実施しております。 今後、支援の充実に向け調整、検討を進めサービスの向上を図ってまいります。
日本共産党川西市議会議員団	83	知的障がい者の居住施設の増設と地域生活支援センター設置は、市の責任として支援すること	健康福祉部	知的障がい者のグループホーム、ケアホームについては、4箇所で運営されています。 また、地域生活支援センターは、障害児（者）地域生活・就業支援センターとして、障がいの別なく相談支援を行っております。
日本共産党川西市議会議員団	84	軽度の障がい者の自立支援策を確立すること	健康福祉部	障害者自立支援法においては、訓練等給付としてリハビリなどの機能訓練や日常生活能力向上としての生活訓練及び一般就労等に向けた支援が制度化されております。こうしたサービスの中で軽度の障がい者の自立を支援してまいります。
日本共産党川西市議会議員団	85	ガイドヘルパー派遣については宿泊をふくめて公費でできるようにすること	健康福祉部	現行制度では認められておりません。
日本共産党川西市議会議員団	86	緊急通報システム・救急医療情報キットは必要なすべての人に無料提供できるようにすること	健康福祉部	緊急通報システム・救急医療情報キットは、対象範囲の拡大に向けて検討してまいります。

平成25年度予算編成に対する市議会各会派からの要望事項一覧表

会派名	№	要望事項	所管	回答
日本共産党川西市議会議員団	87	高齢者･障がい者の就労対策をさらに推進すること シルバー人材センターの仕事確保にさらに尽力すること	健康福祉部	高齢者の就労対策として、健康で働く意欲のある高年齢者のために、働くことを通じて生きがいの充実や地域社会に寄与する㈳川西市シルバー人材センターに対し運営補助をしております。 シルバー人材センターにおいて、就業機会確保のためPR等に努めてまいります。
日本共産党川西市議会議員団	88	高齢者･障がい者の住宅改造資金助成制度をさらに拡充すること	健康福祉部	高齢者の住宅改造を支援するため、引き続き助成制度を実施します。今後とも県制度に合わせて実施してまいります。
日本共産党川西市議会議員団	89	高齢者が集える場所をきめ細かく設置すること 「老人福祉センター」老朽化対策を年次的に行うこと	健康福祉部	地区福祉委員会が行うふれあいサロンや空き家を活用した交流の場としてのコミュニティスペース事業を支援しているほか、老人憩いの家や老人福祉センターのグループ活動、老人クラブなどの集える場所を設置しております。 老朽化した設備等については年次的に更新してまいります。
日本共産党川西市議会議員団	90	高齢者交通費助成を拡充すること	健康福祉部	24年度に引き続き交通費助成を実施してまいります。
日本共産党川西市議会議員団	91	能勢電鉄、笹部、一の鳥居、鶯の森、滝山、絹延橋の各駅、ＪＲ北伊丹駅北口のバリアフリー化をおこなうこと	都市整備部	平成23年3月31日付で移動等円滑化の促進に関する基本方針が改正され、1日当たり平均利用者数が、3000人以上の鉄道駅は平成32年までにバリアフリー化を実施することとなっております。 絹延橋駅、滝山駅、鶯の森駅、一の鳥居駅、笹部駅については、1日当たり平均利用者数は3000人未満でございますが、バリアフリー化について事業者である能勢電鉄株式会社と協議を継続し、要望を行ってまいります。 また、ＪＲ北伊丹駅北口のバリアフリー化についても、事業者に対して、要望を行ってまいります。
日本共産党川西市議会議員団	92	自宅介護、夜間の介護など認知症高齢者とその介護者にたいする援護策を拡充強化すること	健康福祉部	認知症サポーター養成講座、キャラバン･メイト養成研修等により、認知症高齢者を支援する人員を養成するとともに、介護者の負担軽減を図るため、警察等関係機関や地域のSOSネットワーク等支援体制を充実するほか、徘徊高齢者家族支援サービス事業など、認知症高齢者や介護者に対する支援策に努めてまいります。

平成25年度予算編成に対する市議会各会派からの要望事項一覧表

会派名	№	要望事項	所管	回答
日本共産党川西市議会議員団	93	市立保育所の保育体制･保育士定員は、年齢別保育ができる体制と人員にすること 障がい児･乳児加配などを含む保育士は正職員配置とすること	こども部	公立保育所では、国の保育士配置基準を上回る配置にしております。今後とも、児童の数や状態に応じた適正な配置に努めてまいります。
日本共産党川西市議会議員団	94	入所決定する市の責任として、民間認可保育園において保護者が安心できる保育園になるよう、公立と同様の保育体制が取れるなどの財政的な支援を行うこと 指導と必要な援助を行うこと 公私間格差をなくすよう援助すること	こども部	民間認可保育園への補助については、民間の柔軟で弾力的な運営や保育内容の質的確保、経営の安定化を図る観点から、これまで必要に応じて市独自補助を実施してまいりました。今後とも民間保育園の補助の充実について、検討していきたいと考えております。
日本共産党川西市議会議員団	95	市立保育所･認可園の保育料は保護者の負担能力に見合ったものに引き下げ、値上げをしないこと	こども部	保育料の基準については、国の階層見直しに合わせ、所得に応じた設定とするよう適正化を進めてまいります。
日本共産党川西市議会議員団	96	アレルギー除去食･代替食を充実すること そのために必要な人員を配置すること すべての保育所で離乳食ができる体制をとること	こども部	アレルギー除去食･代替食等については主治医の指導のもと、保護者と調整しながら、可能な限り実施に努めているところでございます。また、離乳食についても可能な限り対応してまいります。
日本共産党川西市議会議員団	97	アレルギー除去食･代替食を充実すること そのために必要な人員を配置すること すべての保育所で離乳食ができる体制をとること	教育振興部	平成21年度に策定した「川西市学校給食食物アレルギー対応マニュアル」をもとに、その適正運用を基本に実施しており、現状での対応内容をより確実なものにするよう努めております。さらに、今後の展開については、調理師、栄養士、養護教諭等で構成する「学校給食食物アレルギー対応推進委員会」で、安全確実なアレルギー対応に向けた研究をおこなっているところございます。
日本共産党川西市議会議員団	98	延長保育料徴収はせめて18時30分以降とすること。 利用しなかった場合は、返金すること	こども部	延長保育料の徴収は、引き続き18時以降を対象としてまいります。延長保育料は、通常保育での保育料とは異なり利用申込に応じて負担していただくものですが、20年度からは本市独自で兄弟減免を実施しております。また24年度より月極め利用制度に加えて、一時利用制度について実施しております。
日本共産党川西市議会議員団	99	育児休暇中でも、希望があれば、上の子を保育すること	こども部	児童福祉法の規定により、共働き等で家庭での保育に欠けることが条件となりますが、現行でも、希望があれば育児休暇に係る児童が1歳となる年度の年度末までに限って受け入れております。

平成25年度予算編成に対する市議会各会派からの要望事項一覧表

会派名	№	要望事項	所管	回答
日本共産党川西市議会議員団	100	いつでもだれでも必要に応じて市立保育所･認可園に入所できるようにすること 保育所の増設を行い待機児童の解消をはかること ①旧市立栄保育所は、子育て拠点として活用すること 病児･病後児保育を行うこと ②小学校区に1カ所以上の保育所を造ること ③すべての保育所で産休明け保育ができるように計画的に取り組むこと	こども部	保育所の入所は児童福祉法の規定により、家庭での保育に欠けることが必要となります。また、待機児童の解消を図るため、定員に対して弾力的な受け入れを実施しております。 ①栄保育所跡地において26年度から病後児保育が実施できるよう、25年度においては施設整備にかかる補助を行います。 ②25～26年度において策定する子ども･子育て事業計画において、保育需要の把握に努め、今後必要となる施設について検討します。 ③保育所整備計画に基づき進めてまいります。
日本共産党川西市議会議員団	101	地域保育園への助成金を引き上げること	こども部	認可保育所の補完的役割を担っていただいている地域保育園への支援については、その必要性を十分認識しており、引き続き助成金を支給いたします。
日本共産党川西市議会議員団	102	無認可保育園への助成をすること	こども部	認可外保育所のうち基準を満たした保育所につきましては、地域保育園と位置付けて助成しております。基準に満たない保育所につきましては、近隣市町の動向等を総合的に勘案して検討をしてまいります。
日本共産党川西市議会議員団	103	子育て支援を強化し、虐待防止のため専門家との連携を強めること	こども部	初めての育児を応援するプログラムを実施するなど新たな取り組みを計画的に実施し、子育て支援及び児童虐待の未然防止･早期発見を図っております。また、地域に出向く「出張プレイルーム」を実施し、親子で集える場の拡充に努めております。児童虐待事案への具体的な対応について、関係各機関との連携をより一層強化するため、4機関連絡会議並びに育児支援連携会議を毎月開催しております。
日本共産党川西市議会議員団	104	アレルギー対策の充実を行なうこと	健康福祉部	アレルギー対策につきましては、各乳幼児健診や育児教室での栄養相談と基礎知識の説明、随時に電話･窓口相談での参考資料の配付･郵送、食生活等への助言などを行っているほか、必要に応じて県の相談窓口の紹介や専門機関につないでいるところでございます。
日本共産党川西市議会議員団	105	保健センターの看護師、保健師、栄養士の増員を行うこと	健康福祉部	市民の生涯にわたる健康づくり、保健医療サービス、母子保健事業、予防接種事業等に的確に対応するため、市の財政状況も勘案しながら、適正な職員配置を行ってまいります。

平成25年度予算編成に対する市議会各会派からの要望事項一覧表

会派名	№	要望事項	所管	回答
日本共産党川西市議会議員団	106	精神的な病気の相談窓口の設置、専門家の人数を増やし、連携強化をはかること	健康福祉部	精神的疾患などに起因する本人や家族からの相談につきましては、毎月1回、医師や保健師などによる相談を実施しており、そこから、医療機関など必要な支援機関へと紹介しております。今後も、同様の相談を実施している県や関係機関と協調しながら、専門機関との連携を図ってまいります。
日本共産党川西市議会議員団	107	ケースワーカーをさらに増員し、職員の過重負担解消とともに、より親切ですみやかな対応ができるようにすること 人間の尊厳を守る立場からの研修を強化すること 精神疾患の場合は専門家の立会いでおこなうこと	健康福祉部	生活保護受給者が増加している中で、ケースワーカー等支援するスタッフの充実は重要であると認識しており、今後も充実に努めてまいります。特に生活保護の相談が増加し続けている状況にあるため、現在2名の面接相談員を4名に増員し、この相談の充実を図る予定でございます。 自立支援に必要な技術･能力を高めるような各種研修会に積極的に参加してまいります。 精神疾患を持っておられる方については、専門医受診による診断意見あるいは主治医の意見を参考に援助方針を立て、ケースワーカーが相談支援にあたっております。
日本共産党川西市議会議員団	108	窓口での相談･対応は、別室で行なうことを基本とすること	健康福祉部	別室は生活支援課をはじめ障害福祉課や福祉政策課が相談室として使用しています。限られた相談室ですので工夫して活用してまいります。
日本共産党川西市議会議員団	109	生活保護の相談窓口に、より多くの女性職員を登用すること	健康福祉部	現在、ケースワーカー（職員）3人、面接相談員（嘱託職員）1名、就労支援員（嘱託職員）2名の女性職員を配置しています。今後も課職員全体のバランスを勘案しながら女性職員登用を考えてまいります。
日本共産党川西市議会議員団	110	生活保護の相談窓口に、精神福祉士（ＰＳＷ）を配置すること	健康福祉部	精神疾患及び精神的にしんどい方に対しては、主治医、障害福祉課、障害児(者)地域生活就業支援センター等との連携により支援を行ってまいります。今後もこれら関係機関と連携し対応･支援してまいります。
日本共産党川西市議会議員団	111	遅れている猪名川の河川改修を急ぐよう国･県に強く働きかけること *多田地域の浸水被害を解消すること *銀橋下流の狭窄部の開削を早急に具体化すること	都市整備部	多田地域の浸水防止対策としては、現在、多田院地区の河川改修を施行中でございます。 また、銀橋周辺狭窄部の開削についても平成２３年度から着手しており、早期に完成するよう要望を行ってまいります。

平成25年度予算編成に対する市議会各会派からの要望事項一覧表

会派名	№	要望事項	所管	回答
日本共産党川西市議会議員団	112	猪名川河川敷の草刈、清掃を定期的に行うこと	都市整備部	河川管理者である国土交通省は、年2回(7月と11月)、兵庫県は人家密集区間において随時除草・清掃を行っております。市道管理部分にかかる堤の草刈りについては、市が定期的に実施しております。また、猪名川流域にある複数のNPO及びボランティア市民団体等が、毎年2月に河川敷の清掃を一斉に実施しております。
日本共産党川西市議会議員団	113	最明寺川・塩川・初谷川をはじめ、河川・水路の土砂の除去、草刈りを定期的に実施すること。特に道路にかかる土堤の草刈りは早期に実施すること	都市整備部	最明寺川・寺畑前川・前川・芋生川・塩川については、兵庫県より受託し定期的に実施しております。また、市道管理部分にかかる堤の草刈りについては、定期的に実施しております。
日本共産党川西市議会議員団	114	歩行者・障がい者の安全対策を一層推進すること ①車椅子が安全に通行できるよう歩道などの整備を行うこと ②駐車場、駐輪場の設置を行うこと	都市整備部	歩道の整備については、歩道切下事業を推進することに加え、歩道未整備の道路については、緊急性・必要性等を勘案しつつ、地権者の理解を得ながら計画的な整備に努めてまいります。
日本共産党川西市議会議員団	115	計画をもって、必要とする自転車道を確保整備すること	都市整備部	「自転車通行環境整備計画」の策定について、検討を行っております。
日本共産党川西市議会議員団	116	川西市役所西交差点間の西行き交通停滞の解消を図ること	都市整備部	西行き交通渋滞つきましては、現状を理解しており、早急に改善すべく地権者と協議中でございます。
日本共産党川西市議会議員団	117	川西篠山線滝山～銀橋間に歩道・自転車道をつけること、街灯を設置すること	都市整備部	当該区間のうち滝山から鶯の森区間は部分的に歩道整備が整備されておりますが、未整備区間は能勢電鉄の軌道と猪名川に挟まれた県道部であり、新たな歩道整備は物理的に困難な状況と兵庫県から聞き及んでいます。安全灯については、兵庫県と調整してまいります。
日本共産党川西市議会議員団	118	滝山～鶯の森間の側溝の蓋賭けの安全を確保すること	都市整備部	側溝蓋が掛かっていない個所につきましては、兵庫県に整備を依頼いたします。
日本共産党川西市議会議員団	119	県道川西猪名川線に街灯を設置すること	都市整備部	道路照明については、県に要望をいたします。また、安全灯については検討してまいります。

平成25年度予算編成に対する市議会各会派からの要望事項一覧表

会派名	№	要望事項	所管	回答
日本共産党川西市議会議員団	120	街灯の照度を明るくするよう、切り替えを早く進めること(特に通学路)	都市整備部	通学路等、要望に応じて地元と調整後対応しております。
日本共産党川西市議会議員団	121	久代新道･東畦野山手の側溝に蓋をすること	都市整備部	当該要望箇所を含め、市内全域での緊急性等を考慮しながら順次設置を検討してまいります。
日本共産党川西市議会議員団	122	住民の合意を取り付け、南中生徒の通学路になっている中大野橋に歩道設置を行うこと	都市整備部	中大野橋の現況幅員は7mしかない中で、片側に歩道整備を計画すると、車道幅員が4mしか残らないため、車道を一方通行化する話を地元と協議した結果、賛同が得られなかった経過がございます。今後、どのような方策があるか検討してまいります。
日本共産党川西市議会議員団	123	丸山台1丁目公民館前三差路に信号をつけること	都市整備部	平成２４年１０月１日付で市長から川西警察署長に要望いたしました。引き続き、要望を行ってまいります。
日本共産党川西市議会議員団	124	カーブミラーの曇り(冬季)防止対策を行うこと	都市整備部	くもり止めカーブミラーは、必要に応じて新設･交換を行っております。
日本共産党川西市議会議員団	125	南花屋敷2丁目3と4の境界道を整備すること(せめて救急車が通れるようにすること)	都市整備部	現在、拡幅の計画はございません。
日本共産党川西市議会議員団	126	協立病院から文化会館までの歩道拡張、整備をすること	都市整備部	道路管理者である兵庫県から、協立病院から文化会館前までの歩道拡幅は平成25年度以降歩道拡幅を検討すると聞き及んでおります。
日本共産党川西市議会議員団	127	市道１１号を含む加茂小通学路(南花屋敷地内)東谷小通学路(西畦野地内)の歩道設置を行うこと	都市整備部	市道１１号を含む加茂小通学路、東谷小通学路の歩道は整備済みの部分と未整備部分がございますが、未整備部分については新たな用地買収が必要となることから、財政的な要素も踏まえ、整備可能な個所の歩道整備を検討してまいります。

平成25年度予算編成に対する市議会各会派からの要望事項一覧表

会派名	№	要望事項	所管	回答
日本共産党川西市議会議員団	128	多田吉田線の拡幅、安全対策を行うこと	都市整備部	拡幅可能な個所から整備を行う予定にしておりますが、地権者の用地協力が必要となってまいります。
日本共産党川西市議会議員団	129	私道舗装は住民負担をなくすこと	都市整備部	私道は私有地ですので、市(公費)で全面的に負担することなく、所有者に10%負担をしていただいております。
日本共産党川西市議会議員団	130	公園･広場の増設(特に旧市街地)を行うこと	都市整備部	２４年度は久代地区で、街区公園(プロペラ公園)を整備しておりますが、２５年度の新設公園計画はございません。
日本共産党川西市議会議員団	131	公園遊具は、早急に整備、拡充すること	都市整備部	公園遊具は、安全を第一に配慮し、維持管理をおこなってまいります。また遊具数については、2基遊具があったところには2基、3基以上あったところには3基を基本に、地元自治会等の関係者と協議を行い、設置してまいります。
日本共産党川西市議会議員団	132	大きな公園には時計を付けること、水道施設の整備を行うこと	都市整備部	公園の施設整備につきましては、まず利用者に安心して利用される施設整備を進め、その中でも遊具設置に重点を置いております。
日本共産党川西市議会議員団	133	多田桜木2丁目新在家公園にトイレを設置すること	都市整備部	現在、設置の計画はございません。
日本共産党川西市議会議員団	134	県道多田院･多田停留所線に待機場所の確保をはじめ安全対策を行うこと	都市整備部	兵庫県から土地利用状況により、空地等が発生すれば待避所等で対応したいと聞き及んでおります。
日本共産党川西市議会議員団	135	畦野駅前のバス停までと、送迎車のたまりに屋根をつけること	都市整備部	現在、設置の計画はございません。
日本共産党川西市議会議員団	136	平野駅からバス停まで屋根をつけること ①バス停にトイレをつけること	都市整備部	施設管理者である兵庫県及び能勢電鉄(株)から、現在の歩道橋では、構造的に屋根を設置することができないため、設置の計画はないと聞き及んでおります。 トイレの設置については、阪急バス(株)に申し入れましたが、現在のところ、設置の計画はないと聞き及んでおります。

平成25年度予算編成に対する市議会各会派からの要望事項一覧表

会派名	№	要望事項	所管	回答
日本共産党川西市議会議員団	137	水利組合と交渉し、久代下池公園の整備を野鳥保護･住民憩いの場の観点で整備すること	都市整備部	下池公園につきましては、親水性のある公園整備の構想を持っておりますが、耕作者が使用する水の確保等の問題があり、未だ具体的な整備計画はございません。
日本共産党川西市議会議員団	138	矢問3丁目地内市道233号と県道接続部分は道路幅が狭く車の出入りが困難なため、矢問川の蓋がけなどの改善をすること	都市整備部	矢問川は猪名川合流部から県道川西笹山線部まで1級河川となっているため、河川管理上、蓋掛けは難しいと河川管理者である近畿地方整備局から聞き及んでおります。
日本共産党川西市議会議員団	139	多田大橋北側部分に歩道をつけること	都市整備部	多田大橋を管理している兵庫県から、河川事業と合わせてH24年度から多田大橋下流側に橋梁を拡幅するとともに歩道整備を着手すると聞き及んでおります。
日本共産党川西市議会議員団	140	加茂新橋東詰めに早期に信号をつけること	都市整備部	平成２４年１０月１日付で市長から川西警察署長に要望いたしました。引き続き、要望を行ってまいります。
日本共産党川西市議会議員団	141	伊丹段丘崖の緑地、春日神社、鴨神社、加茂遺跡、勝福寺古墳などを結んだ遊歩道の設置をすること	都市整備部	現在、遊歩道整備の計画はございません。
日本共産党川西市議会議員団	142	伊丹段丘崖の緑地、春日神社、鴨神社、加茂遺跡、勝福寺古墳などを結んだ遊歩道の設置をすること	教育振興部	遊歩道の設置については、関係部局と協議が必要でございます。 当部では、春日神社･加茂遺跡･勝福寺古墳等の文化財解説看板を設置しており、今後とも見学者に啓発できるよう努めてまいります。
日本共産党川西市議会議員団	143	陽明小学校北から東側道路に歩道をつけること	都市整備部	新たな用地買収等が必要であるため、部分的な歩道整備は検討を行っておりますが、全体の歩道整備は困難であると考えております。
日本共産党川西市議会議員団	144	日生中央駅前の新築マンションの車の進入路は、駅前ロータリーと民間店舗の進入路と共に、大変危険な状況であるため、猪名川町と共に、住民の安全を確保できるよう対応を協議すること	都市整備部	当該マンションの進入路につきましては、開発行為等指導要綱の協議において、民間店舗の進入路と併せて、猪名川町による公安委員会協議がなされております。なお、開発事業は平成24年6月15日に完了しております。
日本共産党川西市議会議員団	145	丸山台カリヨンの丘公園の時計を修理すること	都市整備部	釜の尾公園（丸山台カリヨンの丘公園）の時計については、平成24年11月に修繕を行っております。

平成25年度予算編成に対する市議会各会派からの要望事項一覧表

会派名	№	要望事項	所管	回答
日本共産党川西市議会議員団	146	東谷中学校前道路、能勢電鉄高架下に点滅信号を設置すること	都市整備部	平成２４年１０月１２日付で市長から川西警察署長に要望いたしました。引き続き、要望を行ってまいります。
日本共産党川西市議会議員団	147	能勢電鉄に対して改善を働きかけること 川西市と協力し、国に対して「バリアフリー計画」の継続を求め、まだ未実施の一の鳥居、鶯の森、滝山、絹延橋の駅バリアフリー化を実施すること ①乗客の安全を守るように強く働きかけること ②改札口の改善、エレベーター、エスカレーター、階段に手すり取り付けなどすべての駅のバリアフリー化をすすめること ③笹部駅にトイレを設置すること ④早急に一の鳥居駅前の整備、エレベーター設置を行うこと 国道173号とホームが平行になっている所に、改札をつけること、もしくは、インターフォンで出入りできるようにすること ⑤駐輪場を確保・整備し、無料にすること ⑥平野駅からバス停まで屋根をつけること ⑦線路の継ぎ目による騒音の解消をはかるよう工夫すること	都市整備部	①～④及び⑦の要望については、能勢電鉄（株）に伝えております。 なお、平成23年3月31日付で移動等円滑化の促進に関する基本方針が改正され、1日当たり平均利用者数が、3000人以上の鉄道駅は平成32年までにバリアフリー化を実施することとなっております。 絹延橋駅、滝山駅、鶯の森駅、一の鳥居駅については、1日当たり平均利用者数は3000人未満でございますが、バリアフリー化について事業者である能勢電鉄株式会社と協議を継続し、要望を行ってまいります。 ⑤市としては要望を行っております。今後も要望や協議を行ってまいります。 ⑥施設管理者の兵庫県及び能勢電鉄(株)から、現在の歩道橋では、構造的に屋根を設置することができないため計画はないと聞き及んでおります。

平成25年度予算編成に対する市議会各会派からの要望事項一覧表

会派名	№	要望事項	所管	回答
日本共産党 川西市議会 議員団	148	警察署に対して改善を働きかけること ①緑台4丁目(プッチイ前)に信号機を設置すること ②緑台公民館前の交差点に信号機を設置すること ③緑台6丁目から7丁目の間の交差点に信号機を設置すること ④加茂3号橋前に信号機の設置をすること ⑤丸山台1丁目の公民館前三差路に信号機を設置すること ⑥能勢口駅前の今辻交差点に歩車分離信号を設置すること ⑦加茂新橋東詰めに信号機を設置すること ⑧ドラゴンランド前に信号機を設置すること ⑨南花屋敷2丁目歴史資料館前に横断歩道をつけること ⑩多田桜木１７３神戸トヨペット㈱川西店交差点信号機を矢印式信号機にすること ⑪地方道川西三田線、丸山台１南交差点、矢印式信号機にすること ⑫日生中央駅前の新築マンションの車の進入路は、駅前ロータリーと民間店舗の進入路と共に、大変危険な状況であるため、猪名川町と共に、住民の安全を確保できるよう対応を協議すること ⑬東谷中学校前道路、能勢電鉄高架下に点滅信号を設置すること	都市整備部	①～⑤、⑦～⑪については、平成２４年１０月１日付で市長から川西警察署長に要望いたしました。引き続き、要望を行ってまいります。 ⑥歩車分離信号については、小花1丁目交差点･中央町交差点･久代1丁目交差点の3箇所の交差点にモデル導入を要望しております。引き続き、要望を行ってまいります。 ⑫当該マンションの進入路につきましては、開発行為等指導要綱の協議において、民間店舗の進入路と併せて、猪名川町による公安委員会協議がなされております。なお、開発事業は平成24年6月15日に完了しております。 ⑬平成２４年１０月１２日付で市長から川西警察署長に要望いたしました。引き続き、要望を行ってまいります。
日本共産党 川西市議会 議員団	149	阪急バスへ改善を働きかけること ①料金を引き下げること ②乗り継ぎ料金制をおこなうこと ③昼及び夜間の増便と、終バス延長を(けやき坂地域は特に要望が強い) ④低床バス、ノンステップバスを増やすこと ⑤平野駅からグリーンハイツ内のバス料金は大和団地の巡回バスと同じ料金にすること	都市整備部	①②③⑤阪急バス㈱に伝えてまいります。　ただし、運行路線の認可と共に運賃についても、本市の中･南部地域については、近隣市同様に特殊区間制で認可を受けられております。 ④交通事業者が、平成12年度から新車の買え換え時から順次、低床式バスに切り替えております。 市としても、導入促進を図るため平成17年度からノンステップバス2台分の導入補助を行っております。
日本共産党 川西市議会 議員団	150	JRに対して改善を働きかけること ①栄根踏み切りの巾、開閉の改善をすること ②北伊丹駅北口をバリアフリー化すること	都市整備部	JRに対して要望を行ってまいります。

平成25年度予算編成に対する市議会各会派からの要望事項一覧表

会派名	№	要望事項	所管	回答
日本共産党 川西市議会 議員団	151	県土木に関すること ①県道尼崎･川西･猪名川線の街灯の増設を ②県道の拡巾･整備をすること ③県道多田院切畑線にガードレールと街灯を補強･充実すること（特に多田院･若宮間） ④急傾斜地に指定されていない小規模地域(加茂1丁目付近)にも対策をおこなうこと ⑤県道寺本～川西線、下加茂1丁目地内の道路拡幅整備、改善を行うこと	都市整備部	①道路管理者である兵庫県に要望を行ってまいります。 ②県道川西寺本川西線の加茂橋付近の拡幅整備について、兵庫県に要望を行ってまいります。 ③県道多田院切畑線の多田院･若宮間のガードレールと街灯を充実されるよう県に要望を行ってまいります。 ④加茂1丁目の段丘部については、兵庫県が既に現場確認を行っており、急傾斜地対策事業での要望個所が多数ある中で兵庫県として事業化に向けた努力をされております。 ⑤②と同様でございます。
日本共産党 川西市議会 議員団	152	ミニ開発については、近隣住民の同意を必要条件とし住環境を損なわないよう強力な指導を行うこと 専門的技術者を育成すること	都市整備部	近隣住民の同意は絶対条件ではありませんが、開発計画については近隣住民と十分に話し合うよう指導し、都市基盤整備の整った宅地開発への誘導に努めてまいります。 また、開発の専門的技術者の育成にも努めてまいります。
日本共産党 川西市議会 議員団	153	低家賃の公営住宅を増設すること ①既存の老朽市営住宅は早期に改築･改修、整備を実施すること ②空家については、草刈り等管理を徹底すること ③県の借上げ住宅の期限切れに伴う住民負担をなくすこと 市が本来の目的を含め、引き継ぐこと	都市整備部	①既存の老朽市営住宅につきましては、年次的に除却を行うとともに、ストック活用など集約化を図ってまいります。 ②空家の草刈り等管理につきましては、徹底してまいります。 ③県の借上げ住宅につきましては、今後も要望等があれば県に伝えてまいります。
日本共産党 川西市議会 議員団	154	障がい者･高齢者に対応できる住宅に整備すること	都市整備部	加茂桃源団地のシルバーハウジングの緊急通報システムで対応してまいります。
日本共産党 川西市議会 議員団	155	高齢者世帯や若い世帯などに家賃補助制度をつくること	都市整備部	本市の財政状況から難しいと考えております。

平成25年度予算編成に対する市議会各会派からの要望事項一覧表

会派名	№	要望事項	所管	回答
日本共産党川西市議会議員団	156	(空港対策について、伊丹空港は) 都市中空港であり、騒音・安全問題を考慮すれば、廃止すべき施設である 　住民、周辺自治体と国は、平成2年「存続協定」を結び経過する中、今年度は関西国際空港と統合し、新関西国際空港会社へ所有者は変わったが、これまでの「存続協定は遵守する」確約は結ばれている。その中にあって以下の事項について、国並びに新関西国際空港会社へ要求すること ①安全対策を徹底すること。また国に対しては会社に対して監督責任を果たすよう要求すること ②プロペラ機の低騒音ジェット機化に対しては極力抑制し、やむなくジェット機化する場合でも、通常の状況でテストフライトをし、住民の合意を得ること。うるささ指数75を下回る方向で各航空会社へ指導するよう要求すること ③移転跡地の利活用は地元住民・自治体の要望を優先すること 冷房機器の更新は住民負担をなくすこと。特に一人世帯への差別的措置は即刻解消すること ④要保護世帯の民防機器活用に対する支援を継続させること 共同利用施設の活用・改修等に「国」として支援すること。航空会社に応分の支援を要請すること。あわせて地元住民の意向に沿って活用分野を拡大すること ⑤大阪空港へ米軍機の離発着はさせないこと	都市整備部	①平成24年7月1日付けの大阪国際空港と関西国際空港との経営統合に当たり、国土交通省と大阪国際空港周辺都市対策協議会の間で存続協定の歴史的経緯及び理念を尊重し、「ア.国土交通省は責任を持って安全・環境対策を適正に実施するための方策を講じる。イ.存続協定を遵守するにあたり、国土交通省・新課関西国際空港株式会社・大阪国際空港周辺都市対策協議会等を構成団体とする協議の場を設置する。」との協定を交わしております。この協定等をもとに安全・環境対策について最優先で取り組むよう関係機関に対し要望等を適宜適切に行ってまいります。 ②プロペラ機枠の低騒音機枠化により騒音値が上昇しないよう、これまでA滑走路から離陸していたジェット機を全てB滑走路から離陸させ、川西上空での高度を上げ騒音値を下げる等の調整を行っております。 ③平成25年度において所謂壁芯・支え壁対策をはじめ、当該地区の道路・公園整備等の年次計画を地域住民の意向を尊重し策定する予定にしております。また、空調機器の更新助成につきましては、その充実を図るよう新会社に要望いたします。 ④共同利用施設の管理・運営のあり方について検討を行ってまいります。 ⑤引き続き関係機関に対し抗議を行ってまいります。
日本共産党川西市議会議員団	157	国に対し、回収、再利用、処理方法、処理費用等について製造企業の責任と義務を明確にしたごみ減量化と環境保全のシステムづくりを強く要求すること	美化推進部	国に対しまして、今後とも他の自治体と連携して、容器包装リサイクル法との関連性を踏まえ、分別収集費用などの自治体負担を事業者負担とする拡大生産者責任について要望してまいります。
日本共産党川西市議会議員団	158	ごみ収集は市直営を基本とし、必要な人員と収集車を確保すること	美化推進部	循環型社会の構築に適合した収集処理システムを確保しつつ、ごみ量の推移、効率化等を踏まえ総合的に判断してまいります。
日本共産党川西市議会議員団	159	ごみ収集を有料化しないこと	美化推進部	ごみの有料化については、国において、「排出量に応じた負担の公平化及び住民の意識改革を進めるため、一般廃棄物処理の有料化の推進を図るべきである。」との基本的な方針が示され、本市においては、減量化の進捗状況等を勘案し、総合的に検討してまいります。

平成25年度予算編成に対する市議会各会派からの要望事項一覧表

会派名	№	要望事項	所管	回答
日本共産党川西市議会議員団	160	ごみステーションの鳥獣公害防止対策を市として実施すること	美化推進部	ステーション管理は、自治会等の協力を得て行っており、その中で鳥獣対策も講じていただいております。市といたしましても、カラス対策等の情報提供等積極的に行ってまいります。
日本共産党川西市議会議員団	161	ごみの各戸収集をできるところから、できるものからすすめること	美化推進部	本市ではステーション方式による収集が定着しており、収集作業効率等の面からこの方式を継続してまいります。高齢者や障害のある方については、一定の基準を設けサポート収集を実施し継続的に取り組んでまいります。
日本共産党川西市議会議員団	162	事業系ごみの分別収集を徹底させること	美化推進部	一部の事業者には、「一般廃棄物減量化計画書」の提出依頼時に分別排出の啓発をするとともに、事業系一般廃棄物の収集をしている許可業者や事業者にも分別収集の徹底を依頼してまいります。
日本共産党川西市議会議員団	163	ごみ搬送車の往来路は周辺住民に迷惑をかけない道路を選定し、制限速度を守り、安全運転のための指導を徹底すること	美化推進部	ごみ搬送車の運行につきましては、周辺住民のご迷惑にならないよう幹線道路を通行するよう指導しております。また、制限速度を守り、安全運転を行うよう今後とも指導してまいります。
日本共産党川西市議会議員団	164	集団回収の補助金を増やすこと	美化推進部	集団回収奨励金については、平成18年4月回収分から財政事情や近隣市の状況を参考に奨励金単価を1kg当たり1円引き下げ3円としたところであり、今後とも社会情勢を見ながら考えてまいります。
日本共産党川西市議会議員団	165	水道料金を引き下げること	上下水道局	水需要の減少傾向に歯止めがかからず、収益の減額が見込まれることから、剰余金の取り崩しを視野に入れて、現行料金の維持を図り、施設の耐震化等の事業を実施してまいります。
日本共産党川西市議会議員団	166	猪名川･大路地川･一庫ダム周辺の開発規制を含め総合的な水質保全対策を行うこと	上下水道局	猪名川水源の水質に異常が発生した場合、猪名川水質協議会構成団体で対応を講じ、良好な水質が得られるよう努めます。また、水質保全対策に関する法整備について関係機関に要望しております。
日本共産党川西市議会議員団	167	水道鉛管･鉄管を早期に切り替えること	上下水道局	鉛給水管については、計画的に布設替えを実施しておりますが、可能な限り更新工事のスピードアップを図ってまいります。
日本共産党川西市議会議員団	168	共同私設下水道の住民負担をなくし事業の促進をはかること	上下水道局	共同私設下水道の問題点を整理しながら、事業の促進を図ってまいります。
日本共産党川西市議会議員団	169	水洗工事に対して、独居老人･低所得者に負担金の軽減措置制度を創設すること	上下水道局	現行の水洗便所等改造資金助成制度の活用により、普及促進を図ってまいります。

平成25年度予算編成に対する市議会各会派からの要望事項一覧表

会派名	№	要望事項	所管	回答
日本共産党川西市議会議員団	170	料金の引き下げを行うこと	上下水道局	下水道使用料は企業債残高が多額であり、それに伴う利子負担が多額のこと。老朽管渠の更新等に資金が必要なことから現行料金を維持することが必要であります。
日本共産党川西市議会議員団	171	機能低下になる広域化はやめ、消防力を増強し連携すること 国の最低基準を人員･機材とも早期に達成すること	消防本部	宝塚市、川西市及び猪名川町消防広域化協議会規約に基づき協議･検討を粛々と進めてまいります。
日本共産党川西市議会議員団	172	消防団の装備を充実させること	消防本部	消防団の装備については、昨年老朽化した現場用防火衣と防火帽を更新いたしました。今後は通信機器を整備するなど装備の充実に努めてまいります。
日本共産党川西市議会議員団	173	消防団員の確保を支援すること	消防本部	消防団条例の入団年齢の上限を廃止したことにより、再入団者が増加いたしました。また、各種イベント等で消防団員募集の広報活動を行い消防団員の確保に努めてまいります。
日本共産党川西市議会議員団	174	航空機事故に備え消防力･救急力を強化すること	消防本部	定期的に航空機事故を想定し大阪国際空港において、近隣消防との合同訓練を実施しております。また有事の際には、常備、非常備消防力が全力で対処するとともに、関係14市間で締結している「大阪国際空港周辺都市航空機災害消防相互応援協定」に基づき、関係機関と連携を図りながら防御活動を努めます。
日本共産党川西市議会議員団	175	障がい者、独居高齢者等に対する防火対策、指導、具体的支援を行うこと	消防本部	独居高齢者に対しては、民生委員の協力のもと戸別訪問による防火チェック等を行っておりますことから、引き続き対策を講じるとともに、障がい者に対する防火対策、指導方法等については検討してまいります。
日本共産党川西市議会議員団	176	救急車の配置を充実すること(狭隘な道路の整備を促進し、家の前まで救急車が入れるようにすること)	消防本部	増加傾向にある救急事案に対応するため、救急車の旧車両を予備車として保有し、現行車が消毒や点検等で出動できない場合は予備車を代替えとして運行し、常時4台の救急車を確保するよう努めます。また重症者や狭隘地等、傷病者や現場環境の条件に応じて消防車両を同時出場させるなど救急車と連携を密にして適切な素早い搬送に努めてまいります。
日本共産党川西市議会議員団	177	北消防署出入り口を拡幅し見通しが確保できるように改善すること	消防本部	緊急消防車両の出動に際しては、出口に設置した緊急出動表示灯や道路上のゼブラ表示を活用し、安全確保に努めてまいります。また、周囲の安全確認が容易にできるよう、街路樹の剪定を行ってまいります。

平成25年度予算編成に対する市議会各会派からの要望事項一覧表

会派名	№	要望事項	所管	回答
日本共産党川西市議会議員団	178	雑居ビル･高層ビルの防火･防災対策を徹底し、検査を十分行なうこと	消防本部	雑居ビル及び高層ビルにあっては、定期的に消防職員による立ち入り検査等を実施し、良好な防火･防災管理が適法に継続されるよう指導いたします。
日本共産党川西市議会議員団	179	「火災警報器」設置への補助制度をつくること	消防本部	川西市における平成２４年６月時点の住宅用火災警報器の推計設置率は８７％であったことから、既に自費で設置されておられる方が多数であり、公平負担の観点から、未設置の方への補助制度は考えておりません。
日本共産党川西市議会議員団	180	市民の信頼、安全が担保されるよう、行政トップが責任をもって市立病院として存続･拡充することを公言し、今後に向けた取組みをすること 医師確保に全庁あげて取り組むこと	総合政策部	「市立川西病院事業経営改革プラン」に基づき経営の効率化を図りながら、今後の病院のあり方について検討を進めています。 また、病院はもとより、全庁をあげて医師の確保に努めているところであります。
日本共産党川西市議会議員団	181	救急指定病院として拡充すること	市立川西病院	平成16年２月に救急指定病院の告示を受けて以降、内科、外科系の救急体制を中心に、当院で可能な範囲の救急体制をとっております。
日本共産党川西市議会議員団	182	病院への交通機関を充実させること	市立川西病院	交通アクセスの確保については、引き続き市に協力を要請してまいります。
日本共産党川西市議会議員団	183	高額医療費申請や障がい者医療の手続きは市立川西病院で行えるように改善をすること	市立川西病院	市役所担当窓口での対応が原則であり、当院での実施は困難であると考えております。
日本共産党川西市議会議員団	184	高額医療費申請や障がい者医療の手続きは市立川西病院で行えるように改善をすること	健康福祉部	高額療養費の制度には限度額認定証を病院窓口で提示すれば、病院からの請求段階で本人の窓口負担は限度額の範囲に抑えられるという制度があります。平成24年度からは外来でも利用できるようになりました。限度額認定証は健康保険取扱の病院であれば全国のどの病院でも利用は可能になっております。 高額療養費の事後申請につきましては、後期高齢者医療におきましては、対象者に申請書が送付され必要事項を記入して返送すれば手続きが可能になっております。 国民健康保険では窓口申請が必要ですが、申請漏れが生じないよう申請が可能な方にはハガキで申請のご案内を行っております。 福祉医療の受給者につきましては、受給者証を提示すれば県内医療機関では現物給付がなされております。

平成25年度予算編成に対する市議会各会派からの要望事項一覧表

会派名	№	要望事項	所管	回答
日本共産党川西市議会議員団	185	小児科･小児救急外来･産婦人科を充実すること	市立川西病院	医師確保が全国的に困難な状況下、確保している人員で可能な限りの診療体制をとっております。
日本共産党川西市議会議員団	186	人工透析、皮膚科、脳外科を設置すること	市立川西病院	どの診療科も専門医と病院内のスペースの確保、医療機器の整備が必要なことから、現時点では困難であると考えております。
日本共産党川西市議会議員団	187	風呂やベッドなど施設の改善、充実を図ること	市立川西病院	年次的、計画的に対応してまいります。
日本共産党川西市議会議員団	188	待ち時間の短縮をおこなうこと	市立川西病院	救急等、当日の受診状況や患者様の症状により待ち時間が長い場合もあり、ご迷惑をおかけしています。平成22年度に外来･病棟のオーダリングを整備し短縮を図るなど、引き続きサービスの向上に努めてまいりますのでご理解いただきますようお願いいたします。
日本共産党川西市議会議員団	189	患者の駐車料金を無料化すること	市立川西病院	平成22年度から有料化したことで、目的外駐車が減り駐車場待ち時間の問題がほぼ解消されました。ご理解いただきますようお願いいたします。
日本共産党川西市議会議員団	190	職員の感染予防のための対策を強化すること	市立川西病院	感染対策委員会で検討を重ねるとともに、予防接種等も励行しております。
日本共産党川西市議会議員団	191	学校施設の改善、教職員配置の充実など教育条件の整備･充実に力をつくすこと ①校舎内階段、手すり、洋式トイレ、スロープ、エレベーターなど障がい児童･生徒の受け入れのための整備を行なうこと ②トイレ･雨漏りの改修を進めること	教育振興部	学校施設の改善に努めてまいります。 教職員定数の充実等については、県教委に要望いたします。
日本共産党川西市議会議員団	192	憲法に基づく教育を行なうこと	教育振興部	学習指導要領に則り、憲法に基づく教育を実施いたします。

平成25年度予算編成に対する市議会各会派からの要望事項一覧表

会派名	№	要望事項	所管	回答
日本共産党川西市議会議員団	193	すべての子どもに基礎的学力と民主的市民道徳を身につける教育を推進すること	教育振興部	基礎学力の向上に努め、生きる力を育む道徳教育を推進いたします。
日本共産党川西市議会議員団	194	美山台･丸山台、けやき坂地域の中学校を建設し、早期開校を行うこと ＊電車やバスなどで、通学するこども達に交通費の助成を行なうこと	教育振興部	＊地区における就学先学校の指定は、小学校で4キロメートル、中学校で6キロメートル以内で行っておりますので、交通費助成は困難であると考えております。
日本共産党川西市議会議員団	195	こどもの人数増、クラス増に応じた増改築をすみやかに行うこと	教育振興部	児童数･生徒数･学級数の将来推計を考慮し、検討してまいります。
日本共産党川西市議会議員団	196	こどもの安全を第一に考えて各校の冷暖房設備を全ての教室に速やかに設置し活用すること	教育振興部	教室の空調設備設置については、引き続き検討してまいります。
日本共産党川西市議会議員団	197	各教室と職員室を結ぶインターフォンをすべての学校に設置すること	教育振興部	引き続き検討してまいります。
日本共産党川西市議会議員団	198	希望者が地域の公立高校へ全員入学出来るよう積極的に進めること 県が進める学区拡大に反対すること	教育振興部	子どもたちの希望がかなえられるように、きめ細やかな進路指導に努めるとともに、学区拡大については、基本方針の内容を鑑みながら、動向を見守り、地域の公立高等学校への進学がかなうよう努めてまいります。
日本共産党川西市議会議員団	199	私学通学者への学費助成を行うこと	教育振興部	本市では、就学援助制度の趣旨に基づき、市立小･中学校の在籍者に補助をしておりますので、私学通学者への学費助成は困難であると考えております。
日本共産党川西市議会議員団	200	小中学生の電車、バスなどの通学助成は通学の実態にあわせて行うこと	教育振興部	地区における就学先学校の指定は、小学校で４キロメートル、中学校で６キロメートル以内で行っておりますので、通学助成は困難であると考えております。
日本共産党川西市議会議員団	201	学校への配当予算を増やすこと。	教育振興部	増額は困難ですが、前年度なみに確保するよう努力します。

平成25年度予算編成に対する市議会各会派からの要望事項一覧表

会派名	№	要望事項	所管	回答
日本共産党 川西市議会 議員団	202	学校図書予算を大幅に増やし、学校図書室への司書配置に取り組むこと 図書館との連携を拡充すること	教育振興部	学校図書予算につきましては、学校図書館の図書標準達成に向け努力してまいります。 学校司書の市単独での配置は、平成２５年度より全小中学校に週１日で臨時職員が配置されることとなっております。司書教諭については、法において教諭をもって充てることとされております。専任化が望まれますが、現行の制度では、教職員定数については「義務標準法」に基づき、教職員は配置されております。市も必要性を感じており、引き続き県教委に要望してまいります。
日本共産党 川西市議会 議員団	203	就学援助制度の高校生への給付金を復活し、貸付制度の対象人数を増やすこと 私学授業料の無償化を早期に実現するよう国に働きかけること	教育振興部	高校生の援助制度は、奨学金貸付として条例に基づき適正に運用されており、今後も現行制度を維持しながら、対象人数等について検討してまいります。 私立学校の授業料無償化は、国の動向を見守ってまいります。
日本共産党 川西市議会 議員団	204	学校給食は自校方式を継続し、中学校も完全給食を実施すること ①食材は安全な地元産を使うこと ②統一献立による全市一括購入を改善し、各校の自主性を尊重すること ③給食室の改善を引き続き行うこと	教育振興部	川西市における学校給食の特徴である自校方式を今後も継続してまいります。 中学校の完全給食については、平成25年度に「中学校給食検討委員会（仮称）」を起ち上げ、検討をすすめることとしています。 ①学校給食に使用する食材の選定については、基本的に国内産を、生鮮青果物は可能な限り兵庫県内産や近隣地域産の確保に努めています。 地産地消の推進は、農協他関連団体との調整を引き続き行ってまいります。 ②統一献立と一括購入は、安全で良質な食材を安価で確保できるものと認識しており、今後も継続してまいります。 ③給食調理施設は全体的に老朽化がすすみ、その改善が必要であることは認識しております。限られた財源の中で優先順位を設け、最大限の改善がはかれるように努めてまいります。
日本共産党 川西市議会 議員団	205	調理員の配置は文科省基準を正職員で配置すること(嘱託･アルバイト職員もせめて入学式･卒業式など学校行事に参加できるようにすること) 嘱託･アルバイト職員の正職員化をはかること 校務員はすべて正職員とすること	教育振興部	予算の範囲内で、可能な限り実施に向けて検討してまいります。 校務員をすべて正職員にすることは、現時点では困難と考えております。
日本共産党 川西市議会 議員団	206	健康診断にB型肝炎項目を加えるなど拡充すること	教育振興部	健康診断項目は、「学校保健安全法施行規則」の第13条に沿って行っております。現在実施している養護教諭以外のＢ型肝炎の検査は、現状では考えておりません。

平成25年度予算編成に対する市議会各会派からの要望事項一覧表

会派名	№	要望事項	所管	回答
日本共産党川西市議会議員団	207	安全で、できるかぎり短距離の通学路確保に、さらに努力すること 久代小、加茂小、川小、北小校区・西畦野地域の学童に、安全な通学路を確保すること	教育振興部	学校をはじめとする関連機関等と連携・協力を密にし、引き続き通学路の安全確保に努めてまいります。
日本共産党川西市議会議員団	208	学校教育の一貫として、部活外部指導員制度を拡充すること	教育振興部	現下の財政状況のもと各校3名の外部コーチを配置し、生徒の部活動の充実を進めてまいりたいと考えております。
日本共産党川西市議会議員団	209	市が責任をもって、夏休み中のプール開放を充実させること	教育振興部	夏休み開放プールは、地域のコミュニティが中心となり進めております。
日本共産党川西市議会議員団	210	地域の学校に通う障がいのある生徒の登下校をサポートできるようにすること	教育振興部	特別支援学級在籍児童生徒一人ひとりの登下校をサポートすることは難しい状況でございます。保護者がどうしても対応できない場合は、ファミリーサポート、児童ディサービスやボランティアの協力を得ております。
日本共産党川西市議会議員団	211	校区選択性の導入により、校区外入学を選んだ児童・生徒の通学の安全確保など、新制度のもとできめ細かな対応をすみやかに行うこと	教育振興部	学校をはじめとする関連機関等と連携・協力を密にし、引き続き通学路の安全確保に努めてまいります。
日本共産党川西市議会議員団	212	県立川西高校の募集停止を止めること	教育振興部	県教育委員会の定時制高校再編についての決定事項を鑑みながら、兵庫県立阪神昆陽高等学校を希望する生徒に対する通学の配慮等について、引き続き県へお願いしてまいります。
日本共産党川西市議会議員団	213	障がい児へ専門的に対応できる教師を育成し、適切な対応をすること また、他施設へリハビリに行く場合支援すること	教育振興部	指導法や指導体制の工夫・改善、専門性の向上のために、教職員研修の充実を図り、教職員の資質向上に努めます。 他施設へのリハビリについては、連携を図るように取り組んでまいります。
日本共産党川西市議会議員団	214	(幼児教育の充実のために) 全園で3歳児保育に取り組むこと	教育振興部	地域の実情と幼稚園の果たすべき役割を踏まえて、幼稚園の在り方を検討してまいります。
日本共産党川西市議会議員団	215	希望者は全員入園を受け入れること 自転車通園を認めること 給食や延長保育を検討すること	教育振興部	施設規模に応じて定員を設定しておりますが、平成25年度入園児募集にあたっては、抽選は行っておりません。 公立幼稚園の通園は原則徒歩または公共交通機関の利用ですが、やむをえない事情の場合は、個別に対応しております。 給食の実施や延長保育については、3歳児保育と同様に幼稚園の在り方を検討する中で検討してまいります。

平成25年度予算編成に対する市議会各会派からの要望事項一覧表

会派名	№	要望事項	所管	回答
日本共産党川西市議会議員団	216	職員は正職で配置すること	教育振興部	幼稚園のすべての教職員を正職員とすることは、現時点では困難であると考えております。
日本共産党川西市議会議員団	217	私立幼稚園への補助金を増額し保護者負担を軽減すること	教育振興部	国の補助制度に基づいて、就園奨励に努めてまいります。
日本共産党川西市議会議員団	218	公民館、図書館等社会教育施設は直営で管理すること	教育振興部	図書館の管理運営については現在のところ直営の方針であります。 公民館の管理運営については、現在のところ直営の方針であります。
日本共産党川西市議会議員団	219	図書館の蔵書を充実し、図書貸し出しサービス網を拡充すること 分館の建設を急ぐこと 学校図書との連携を積極的に行うこと 嘱託職員の正職化を行うこと 公民館図書室に司書を配置し蔵書の充実に努めること	教育振興部	図書館では蔵書の充実に努めるとともに、公民館図書室との連携やインターネット予約により図書の貸出しサービスに努めてまいります。また、団体貸出の配送サービスの周知を行い、学校図書との連携に努めてまいります。 分館の建設及び嘱託職員の正職化については、現在の財政状況のもとでは困難でございます。 公民館図書室では図書貸出日に臨時職員を配置しており、司書の配置は考えておりません。蔵書の充実については、市民の要望や新刊図書リスト等を参考に図書の選定を行い充実を図っております。
日本共産党川西市議会議員団	220	遺跡･文化財の保存･保有を積極的に行い、国の指定を受けている加茂遺跡公園計画の促進をはかること ①国の史跡指定にむけて積極的に動くこと ②埋設物説明看板の設置を促進すること ③専門家配置を継続して複数配置とすること	教育振興部	加茂遺跡については、平成12年度の国史跡指定に続き、22年度に追加指定を受け、現在約2.8ヘクタールが指定されています。また、土地買い上げも国庫補助を受け、順次進めております。保存活用構想については、学識者･県教委等の意見を聞き検討を進めております。 埋蔵文化財専門職員の複数配置については検討してまいります。
日本共産党川西市議会議員団	221	広域ごみ処理施設建設地とその周辺の山･遺跡･文化財の調査･保存を行うこと	教育振興部	広域ごみ処理施設建設地の鉱山関係文化財調査は実施済みです。周辺の山については、間歩の分布調査の実施等を検討してまいります。
日本共産党川西市議会議員団	222	学童保育(留守家庭児童育成クラブ)について、クラブ利用料の値上げを行わないこと	こども部	平成20年7月から土曜日や夏休み等長期休業中の開所時刻を早めるとともに、延長育成を実施し、受益者負担の観点から育成料を改正いたしました。 今後とも育成クラブ事業に係る経費や近隣市町の動向等を勘案しながら決定してまいります。

平成25年度予算編成に対する市議会各会派からの要望事項一覧表

会派名	№	要望事項	所管	回答
日本共産党川西市議会議員団	223	クラブの内容を充実すること ①休校日を含めて開室すること ②施設･備品を充実すること、学習室とプレイルームを分離すること ③市が助成しておやつの内容を充実すること ④長期休暇時の給食を行なうこと ⑤指導員の待遇を改善すること、研修を保障すること ⑥延長保育を全学校で行うこと	こども部	①学校の休校日である土曜日や長期休業期間中も開室しております。 ②施設整備として、22年度に北陵小学校内の育成クラブ室を増築しております。備品についても23年度に読書環境を整備するなど必要に応じて随時充実を図ってまいります。部屋の分離については、学校の教室としての需要との兼ね合い上、クラブ室としての新規の確保が難しいため、レイアウトを工夫したり、勉強と遊びの時間を区分したりするなどにより対応してまいります。 ③受益者負担を基本に考えております。 ④実施の予定はございません。 ⑤状況に応じて嘱託職員の報酬及び経験加算の改正を行っております。研修につきましては、外部講師を招いた独自研修の開催や県学童保育連絡協議会主催の指導員研修会へ参加しており、引き続き資質の向上に努めてまいります。 ⑥利用ニーズ、集団保育の意義、近隣市町の動向等を総合的に勘案して検討をしてまいります。
日本共産党川西市議会議員団	224	待機児童が出ないよう希望者全員入所を保障し、子どもが落ち着いて生活できるように、必要な施設と指導員の体制を整えること	こども部	22年度までに、児童数の多い大規模クラブを分割し、定員の適正化を図るとともに、北陵小学校の育成クラブ室を増築し定員を増やしてまいりました。今後、児童増が見込まれている、けやき坂小学校の育成クラブ室につきまして移設･拡充する準備を進めてまいります。
日本共産党川西市議会議員団	225	青少年の家「セオリア」のスタッフ増員と正職員化を行うこと わかりやすく安心して相談できるカウンセリング体制とその充実へ、組織の改善とスタッフの増員を図ること 「セオリア」にも専門のカウンセラーが関わるようにすること	教育振興部	現在の予算状況では、スタッフの増員および、正職員化には難しいものがあります。しかしながら、セオリアの移転により、通室する児童･生徒の利便性の向上とともに教育情報センター職員の応援と連携をより積極的に図ってまいります。 不登校相談等については、引き続き同センターの臨床心理士が対応してまいります。
日本共産党川西市議会議員団	226	青少年が自主的に活動できる施設を青少年の参加で場所の確保を行うこと	こども部	「げんきな若者かわにしプラン（案）」に基づき、今後検討を行ってまいります。
日本共産党川西市議会議員団	227	「ひきこもり」をなくす対策を積極的に行うこと	こども部	総合的な相談窓口の設置と支援ネットワークの構築に向け、関係機関や団体と調整を図ってまいります。
日本共産党川西市議会議員団	228	（スポーツ･レクリエーションの振興のために）施設利用の料金値上げをしないこと	市民生活部	施設の使用料については、施設利用者に適切な負担をしていただく必要があると考えております。

平成25年度予算編成に対する市議会各会派からの要望事項一覧表

会派名	№	要望事項	所管	回答
日本共産党川西市議会議員団	229	市民温水プールは利用しやすい料金にすること 一般利用者にも、アドバイスや指導ができるように、職員の体制や研修を充実させること 幼児・高齢者は無料にすること（保育所等(民間を含む)の団体利用について、保育等公的活動での利用の場合、料金免除などの措置を検討すること）	市民生活部	料金の値下げは考えておりませんが、今後とも幼児から高齢者まで誰でも利用しやすい施設となるように努めてまいります。
日本共産党川西市議会議員団	230	市民がスポーツできる場所を拡大すること	市民生活部	環境の整備に努めてまいります。